

横浜市立洋光台第一小学校



学校だより

令和6年1月10日発行

令和5年度

1月

令和6年 新年を迎えて

校長 千本 恵子

1月1日、横浜は穏やかな新年を迎えました。私は、子どもたちの健康と多くの笑顔を祈りながら初日の出を見ておりました。ところが、夕方には、能登半島地震が発生し、東日本大震災の時に感じた不安に襲われました。日々、被害の状況が明らかになり、被害に遭われた方々の悲しみと苦しみを思うと胸が苦しくなります。被災者の方々にお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。

学校での子どもたちの被災を想定するとき、私たちの学びとなるのが東日本大震災の「釜石の奇跡」と言われる子どもたちの避難行動です。地区は津波で壊滅状態となりましたが、この地区の小中学生570人は全員無事に避難ができました。これは日頃から行われていた防災教育を学んだ子どもたちが普段から行っている行動を当たり前実践した結果が起こしたものでした。また、釜石の子どもたちは、自らの命を守っただけでなく、まわりのお年寄りや幼児の避難を助けたことや、避難所の清掃、避難住民の名簿作りなど、避難後の生活にも貢献したことで知られています。このように災害のときには、まず自分で身を守り、そして助け合うことが必要になります。災害への備えを考えると「自助」「共助」「公助」が言われます。このなかで、私たち自身にできるのは「自助」と「共助」です。新年を迎えるにあたり、一人ひとりが「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えをもち行動できる子どもたちに育てることの重要性を深く考えることとなりました。1月20日（土）には、本校において地域防災拠点訓練が実施されます。「公助」についても子どもたちが理解する機会とし、本校の防災教育を深めていきたいと考えています。

保護者、地域の皆様、洋光台第一小学校の子どもたちの安心・安全のために、学校、家庭、地域の連携力をさらに高められる年になりますよう、本年もどうぞよろしく願いいたします。

洋光台第一小学校 教職員一同